

## 「ヘルプカード」って何？

愛媛県から、今年度用の障害者福祉のしおり【平成28年2月版】が出されました。受けられる福祉サービスにはどのようなものがあるのか、相談窓口はどこかといった、愛媛県の具体的な福祉のシステムについて紹介されています（愛媛県のホームページよりダウンロードできます）。

このしおりですが、昨年度【平成27年1月版】と変わっている点がありました。それが、『ヘルプカード』の項目です。

愛媛県のホームページではヘルプカードについて『聴覚障害や内部障害など、障害があることがわかりにくい人や、言葉などでうまく伝えることができない人は、災害が起こって避難するときや急病の時の対応、日常生活で、上記以外にもいろいろな困りごと、不安なことがあります。ヘルプカードには、緊急連絡先や具体的な困りごと、周りの人をお願いしたいことを書いて日常的に携帯します。そのカードを使って、周囲の人に適切な配慮や支援を求めます』とあり、『ヘルプカードは「手助けがほしい人」と「手助けしたい人」をつなぐコミュニケーションのためのカード』であると説明しています。



大きな災害に備えて、また日頃の外出時のトラブルに備えて、万が一のためにカードを携帯することは勿論ですが、カードに記入することで、自分はどのような支援が必要なのかということを確認、学習することにも使えると思いました。

あなたの支援が必要です <b>ヘルプカード</b>		【私の医療情報】	
愛媛県東温市		障がいや病気の 名称と発症年月	
愛媛県東温市		飲んでいる薬	
愛媛県東温市		アレルギー等	
愛媛県東温市		かかりつけ 医療機関	機関名: 施設番号: (主指定)
平成 年 月 日 記入		お願いしたいこと	
名 前			
住 所			
生年月日 (年 月 日)	性別 (男 女)	血液型 (型 Rh+)	
緊急連絡先①: 電話番号: 呼んでほしい人の名前:		このカードの中に お願いしたいことが書いてあります。 中を開いてみてください。	
緊急連絡先②: 電話番号: 呼んでほしい人の名前:			
緊急連絡先③: 電話番号: 呼んでほしい人の名前:			

【ヘルプカード 東温市版】

## 第28回ろう教育を考える全国討論集会inとっとりが開催されます！



今年で28回目を迎える「全国討論集会」が、8月6日と7日の二日間、鳥取県で行われます。ろう教育関係の研修では、夏の風物詩として定着した感もあるこの研究会。今年も全国初の手話言語条例制定県での開催ということもあり、平井伸治県知事の記念講演があります。また、例年通りの分科会や小・中・高生企画等も充実しています。先生方、保護者の方、夏の旅行を兼ねた研修の案として考えてみてはどうでしょうか。申し込みの締切りは6月30日です。聴能言語室入り口に案内書があります。また、ホームページからでもダウンロードができます。

## 「手話総合資料室」の御紹介



【ウェブサイトトップページ】

社会福祉法人全国手話研修センターが運営する「日本手話研究所」が、様々な手話に関する歴史的な資料を公開するウェブサイトを開設しました。

URLは <http://jisls.jp/shiryo> です。

歴史好きのみみちゃん担当者には、垂涎(すいえん)ものの資料もありました。是非、自立活動の授業でも取り上げたいと考えています。

ちなみに本校にも、昭和初期の教科書等の貴重な資料が聴能言語室にあります。まだ見たことのない方は、是非一度御覧ください。



【聾学校用「国語初歩」 左：昭和9年発行 右：昭和11年発行】



聴能言語室にある  
ショーケースには  
様々な資料が展示

聴覚障害教育福祉協会からのお知らせ

### F M補聴システム（FM送受信機）の無償貸出しについて

公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会では、聴覚障がい児・者に対する事業の一つとして、FM補聴システムの貸し出しを行っています。FM補聴システムは、マイクを通して入る話し手の声をFM電波に変え、聞き手に直接届けることができるシステムで、本校でも何名かの子供が使用しています。本校でも、数年前に申込みをした生徒がいました。その時の器機はタイループ接続型（受信機を補聴器や人工内耳に取り付けるのではなく、首からタイループをかけ、ループシステムと同じ要領で音を届ける）のもののようなのです。

申込みは、学校で取りまとめて行いますので、興味がある方、申込みを希望される方は、担任の先生を通じて聴能言語室（佐伯）まで御相談ください。

貸与期間：3～5年

経費：こん包・送料1台につき2000円が必要です。  
(器機本体は無料貸し出しになります)

校内締切：平成28年7月4日(月)必着

※ なお、配布予定数が限られているため、貸出しの可否は後日(8月末)に決定されます。

今年も案内が来ました！ が・・・

## 全国手話検定試験

主催 社会福祉法人 全国手話研修センター

今年で11回目を迎える試験です。

5級から1級までの試験があり、手話の表現だけでなく、読み取りや実技（会話）、2級以上は筆記試験もあります。

残念なことに、今年は、5級と4級が本校の文化祭前日、3級と2級が本校の文化祭の当日と重なってしまい、本校の関係者は受験が難しくそうです。ちなみに準1級と1級は10月22日に四国では高松市で実施されます。

来年の受験に向けて。コツコツと準備を始めましょうか・・・。

第11回 全国手話検定試験

6月10日(金)～8月12日(金)  
資料請求 5月9日(月)～8月1日(月)

試してみませんか？あなたのコミュニケーション能力！

※受験受験が可能です！(ただし、準1級と1級はできません。)

級別	試験科目	試験時間	試験会場	受験料
5級	手話の読み取り	15分	各都道府県指定会場	1,000円
4級	手話の読み取り	15分	各都道府県指定会場	1,000円
3級	手話の読み取り	15分	各都道府県指定会場	1,000円
2級	手話の読み取り	15分	各都道府県指定会場	1,000円
1級	手話の読み取り	15分	各都道府県指定会場	1,000円
準1級	手話の読み取り	15分	各都道府県指定会場	1,000円
1級	手話の読み取り	15分	各都道府県指定会場	1,000円

※試験料が別途必要です。受験料は、試験当日までに各都道府県指定会場に納入してください。

※試験料は、試験当日までに各都道府県指定会場に納入してください。

※試験料は、試験当日までに各都道府県指定会場に納入してください。

今年も案内が来ました！（その2）

## 明晴学園 幼稚部オープンスクール 小学部・中学部体験会 の御案内

参加費 無料

2016 幼稚部オープンスクール  
小学部・中学部体験会

日程: 7/9(土) 9:30~14:30  
9/10(土) 9:30~14:30

対象: 幼稚部から中学2年までのろう児・難聴児と保護者

手話と日本語のバイリンガル教育を体験してみませんか？

明晴学園 <http://www.mieigakuen.ac.jp/>

ろう・難聴児に手話と日本語のバイリンガル教育を行っている明晴学園は、7月9日と9月10日にオープンスクールと体験会を実施します。

対象は、幼稚部から中学2年までのろう児・難聴児と保護者の方です。

子供は活動や体験授業を、保護者の方は、学校の概要や教育方針の説明を聞くことができます。

左の案内パンフレットは、明晴学園のホームページでダウンロードできます。

今年も案内が来ました！（その3）

## 第3回 全国手話パフォーマンス甲子園

「スタバ」や「セブン」の進出で何かと話題の多い鳥取県（でも「ドンキ」は、まだのよう・・・。小学部のみなさん、何のことかわかりますか???)ですが、平成25年には、全国で初めての手話言語条例を制定し、手話の『聖地』を標ぼうしていることでも有名です。

高校生なら、ろう者、聴者に関係なくエントリーできるこの大会は、9月25日のシルバーウィーク最終日に、20チームのパフォーマンスが披露されます。

第3回 全国手話パフォーマンス甲子園

2016年 9月25日(日)

会場: 鳥取未来中心 大ホール

申込期間: 5月9日(月)～6月30日(日)

予選発表会: 7月25日(日)

参加チーム募集中!

手話の聖地「鳥取県」で輝く手話パフォーマンスの甲子園!

鳥取県手話言語条例制定記念大会

鳥取県手話言語条例制定記念大会

鳥取県手話言語条例制定記念大会

## 聴力測定の結果をお渡ししています

今年度の1回目の聴力測定が終わりました。小学部以上の児童生徒には、学級担任の先生を通じて、学校での聴力測定の結果をお渡ししています。子供さんの聴力の状態について御確認ください。

### オーディオグラムの見方

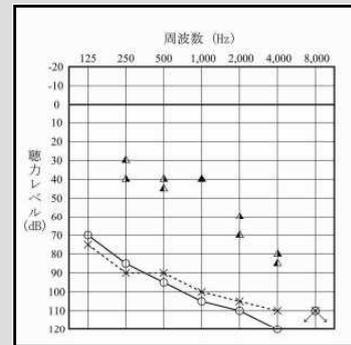
- (実線・赤) : 右耳裸耳の聴力
- × (点線・青) : 左耳裸耳の聴力

※ 「↓」はスケールアウト…測定不可



- ▲ : 右耳の補聴器 (人工内耳) 装用時
- △ : 左耳の補聴器 (人工内耳) 装用時

※ 人工内耳装用時の結果をCI (コクレア・インプラントの略) と記入する場合があります。



梅雨から夏にかけて、補聴器や人工内耳にとっては故障が多くなる時期です。一日の終わりには、必ず乾燥ケースに入れて、補聴器や人工内耳も休ませましょう。

また、最近よく見受けられるのが、フックやイヤモールドの目詰まりです。どちらも掃除をしましょう。難しければ、休み時間に聴能言語室に来てください。

## 知っておきましょう「平均聴力レベル」の計算方法

聴力測定の結果を表す際に用いられるのが「平均聴力レベル」です。

算出方法には、様々なものがありますが、日本では、健康診断や身体障害者等級を定める場合、「4分法」を用いることが多く、本校でもこの方式で示しています。

$$\text{平均聴力レベル} = \frac{500\text{Hz}_{\text{の値}} + (1\text{kHz} \times 2)_{\text{の値}} + 2\text{kHz}_{\text{の値}}}{4}$$

### 編集後記

「みみちゃん68号」をお届けいたします。ダンスパフォーマンス甲子園の記事を作成しながら思ったのは、ろう学校の高等部からこの大会に参加することが難しくなっている学校が多くなっているのではないかということ。ちなみに松聾は、昔(みみちゃん担当者が新採で赴任した25年程前)から、中学部、高等部生徒によるダンスが文化祭で披露されたり、地元紙で紹介されたりしていました。今だったらもっと注目されたかもしれません。